

# 明日の工藝

第22回岡田茂吉賞

2022年

10月7日|金| - 10月25日|火|

MOA美術館 展示室6

開館時間: 午前9時30分 - 午後4時30分(入館は午後4時迄)

休館日: 木曜日

観覧料: 一般1,600(1,300)円/高大生1,000(700)円・要学生証/  
中学生以下無料/65才以上1,400円・要身分証明

※( )内は10名以上の団体料金

※障がい者手帳をお持ちの方と付き添い者(1名のみ)半額

※前売り券は、ホームページのオンラインチケット、お近くのコンビニエンスストア(セブンイレブン、ローソン、ファミリーマート)でもお求めいただけます

MOA美術館

大賞: 城間栄市  
琉球紅型着物「波の歌」  
2021年

熱海市桃山町26-2  
TEL: 0557-84-2511  
<https://www.moaart.or.jp>



津金日人夢 青瓷平壺 一水天彷彿一  
2021年



奥井美奈 乾漆箱「流れる」 2017年



和田 的 白器「ダイノ台」 2017年



しんたにひとみ 乾漆銀平文はちす箱  
2021年



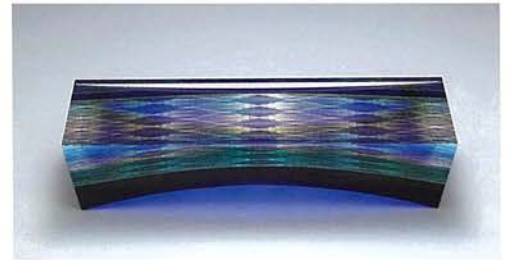
大賞：城間栄市  
琉球紅型着物「波の歌」  
2021年



佐故龍平 李目金打出捻六稜水指 2021年



高山尚也 乾漆鉢「ながれ」 2021年



山本 茜 靱金硝子盛器「かささぎの橋」 2020年

大賞：城間栄市(45歳) 沖縄県在住  
琉球王国時代から続く紅型三宗家の城間  
家に生まれる。20代に東南アジアを旅  
する中で、紅型に自己のアイデンティ  
ティを見出し、城間家16代として紅  
型の革新に取り組んでいる。「藍型」を基  
調とする伝統を継承しながら、沖縄の海  
に関わる生き物をモチーフに新たな意匠  
を取り入れた紅型を発表している。

岡田茂吉賞は、創設以来、現代日本工芸の最前線で活躍する作家の顕彰に努めてきま  
した。第22回を迎える本賞は、わが国美術界の第一線で活躍する美術評論家、研究者  
に選考委員として就任いただき、現在最も活躍している若手工芸家8名を受賞者候補  
に推薦していただきました。厳正な審査の結果、大賞に琉球紅型の城間栄市氏を選考  
しました。本展は明日の工芸を担う8名の若手作家の作品を紹介致します。

## 明日の工芸 第22回岡田茂吉賞

The 22nd Okada Mokichi Award - Taking kōgei into the future

### 【審査委員】

小笠原小枝  
河合 正朝  
中田 英寿  
室瀬 和美  
内田 篤典

日本女子大学名誉教授  
美術史家・慶應義塾大学名誉教授  
国立工芸館名誉館長  
漆芸作家・重要無形文化財保持者  
公益社団法人日本工芸会副理事長  
MOA美術館館長

### 【選考委員】

小山弓弦業  
唐澤 昌宏  
黒川 廣子  
近藤都代子  
佐々木正直  
原田 一敏  
モニカ・ピンチク  
矢代 勝也

東京国立博物館工芸室長  
国立工芸館館長  
東京藝術大学美術館館長  
東京藝術大学非常勤講師  
群馬県立館林美術館特別館長  
ふくやま美術館館長  
メトロポリタン美術館アジア美術部学芸員  
MOA美術館 学芸部長

(五十音順)



### 交通

○JR線をご利用の場合：JR熱海駅下車→バスターミナル  
8番乗り場よりMOA美術館行きバスをご利用ください。  
(所要時間7分)

○お車でのご越しの場合：東京方面からは、西湘バイパス、  
又は小田原厚木道路より真鶴道路を通り、お越しください。  
静岡方面からは東名沼津インター、又は新東名長泉沼津イン  
ターより伊豆縦貫自動車道→熱海道路を通り、お越しください。

MOA美術館  
MOA MUSEUM OF ART

〒413-8511 静岡県熱海市桃山町26-2  
tel: 0557-84-2511  
https://www.moaart.or.jp

本チラシをご持参の方、1枚につき4名様まで割引致  
します。チケットをご購入の際にご提示ください。  
大人1,600円→1,500円 高大生1,000円→900円  
シニア割引など他の割引との併用は出来ません。  
有効期限 2022年10月7日(金) - 10月25日(火)